

2020年3月修了生10名のコメント ～2年間の研修を振り返って～

- 住井 由紀 (2018年 慶應義塾大卒)

初期研修が始まった頃を振り返ると、右も左も分からず目の前のことに精一杯でした。素晴らしい指導医の下で様々な症例について学び、微力ながら患者さんやそのご家族と向き合う中で、その気持ちに寄り添える内科医になりたいと感じるようになりました。あっという間でしたが、ローテーションの希望にも丁寧に対応して頂き、素晴らしい環境で研修することができ本当に良かったです。4月からは後期研修医として、当院での研修を糧に精進して参ります。2年間本当に有難うございました。

- 安東 悟司 (2018年 岩手医科大卒)

ついに研修医生活を終わりました。

振り返ってみると、何をやって良いかもわからずただ茫然としていた頃から2年が経ちました。時には厳しく指導され、落ち込む時期もありましたが、今後の医師人生において自分に不足している部分であると修正に努めました。今では自分で判断してできることが増え、充実した日々を送っています。しかし、今後他病院へ移り、自分が選択した科での仕事が始まります。振り出しに戻りますが一層身を引き締め頑張りたいと思います。

- 三本松 毬子 (2018年 慶應義塾大卒)

2年間の初期研修が早くも修了しようとしています。身体と頭を動かす研修がしたい、と考えて当院での研修を志望し、実際に各種病棟・手術室・救急外来・外病院と様々な場所で充実した研修をさせていただきました。ただこの場であえて言及するならば、ひたすら走り続けた2年間かと言われると、すんなりと頷くことができないのは悔やまれる点です。自主性に任されるとどうしても易きに流れてしまう、身体にも頭にも楽をさせてしまう自分に気付くこともありました。とはいえ、時間と労力を惜しまず指導して下さった先輩方、刺激となる同期や後輩との関わりは、私にとってかけがえのないものとなりました。今後当院で実習をする学生さん、実際に働く研修医の皆さんが、この恵まれた環境を存分に活かされることを願っております。

- 須田 悟史 (2018年 浜松医科大卒)

当院での研修も残りあと数週間で終わりを迎えようとしています。当初は不慣れなことばかりで辛く思うこともありましたが、2年間の研修を経て今思うとそれも良い思い出となりました。当院は内科、外科、救急(3次救)と各科の揃ったバランスの良い研修病院だと思います。意欲さえあれば初期研修医として大抵のことは経験できると思います。春からこの病院を去るのは少し寂しくもありますが、当院で過ごした2年間の誇りに思い新天地でもがんばりたいと思います。是非一度見学に来ていただくと嬉しいです。

- 関根 大揮 (2018年 慶應義塾大卒)

2年間研修を終えてみて、本当に沢山の経験をさせて頂きました。今でも医師として働き始めた初日の、緊張して汗をかきながら患者さんに採血をした事を強く覚えています。研修中に沢山の手技を経験させて頂き、2年経った今となっては非常に良い思い出です。まだまだ医師として駆け出しではありますが、物事の考え方や患者様への接し方など、これからの長い医者人生における礎となる土台の部分に関して、見習う事の出来る上級医、同期に囲まれて凄く充実した日々を過ごす事が出来ました。短い間でしたが、お世話になりました。本当にありがとうございました。4月からも済生会で培った精神を忘れずに頑張りたいと思います。

- 宗 英一郎 (2018年 慶應義塾大卒)

内科、ERを中心に多くの症例・手技を経験できたことは自信につながりました。学生から急に一人前の医師として扱われるようになり入職当初は戸惑いもありましたが、上級医の先生方の背中を間近に見て、医学的知識のみならず医師としての責任感・心構えも学ぶことができたように思います。二年間、自分の思い描いていた研修生活を送ることができました。初期研修に求めるものは人それぞれだと思いますが、どの専門科に進むにあたって必要な基本的診療能力を身に付けることができる環境だと思います。

- 高橋 祥子 (2018年 北里大卒)

私は当院での研修を目指した大きな理由として、病院見学の際に出会った研修医の先生方がてきぱきとでも楽しく充実した様子で働いている姿を見て、自分も先輩方のようになりたいと強く思ったことが大きかったです。そして働きだすと、尊敬できる教育熱心な上級医や切磋琢磨できる大切な同期後輩と共に、医学的知識以外にも医師として基盤になる心構えを学ぶことができました。体力的にも精神的にもつらいことは多々ありましたが、それを跳ね返すほどの充実感、達成感で満たされており、当院で研修できたことを誇りに思います。今後も初心を忘れずに日々精進していく所存です。2年間ありがとうございました。

- 赤尾 綾香 (2018年 福岡大卒)

1年目の4月は、診察、問診、診断と全てが手探り状態だったことを覚えています。一つ一つ出来ることを増やして、2年前に比べると少しは出来ることが増えたように思います。切磋琢磨している同期からは非常に大きな影響を受けました。みんなありがとう。そして先生方、本当にお世話になりました。

- 生天目 かおる (2018年 筑波大卒)

こんにちは、初期研修2年目の生天目です。

済生会中央病院で研修を終えようとしていますが、2年間で多くの手技や救急の対応や病棟管理などの経験を積むことが出来ました。また、1人で出来ないことを上級医やコメディカルの方々に支えてもらえることが多かったと思います。手技や経験、人に恵まれた環境にあり、済生会中央病院の初期研修が出来て良かったと感じています。初期研修先を迷っている方は、済生会中央病院に是非一度見学にいらしてみてください。

- 西岡 晃薫 (2018年 日本医科大卒)

2年間を振り返ると、済生会中央病院で初期研修が出来て本当に幸せだったと思います。病院全体が研修医に対して非常に教育熱心で、また同期の仲間も向上心ある方々ばかりで、私も日々成長を実感できました。